



日本靴連盟 第57回通常総会開催

一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(7月号)

平成25年6月26日、午後2時より東靴協会西村記念ホールにおきまして日本靴連盟の総会が開催された。

栗原茂監事より出席者が委任状を含め25名で総会の成立する旨報告。

藤原副会長より「靴の記念式典もお陰さまで盛大に挙行できました。」と開会の挨拶。続いて大野会長より「この団体は前身から数え104年という歴史、靴業界の川上から川下までの集まりとして続いてまいりました。世の中はアベノミクスで景気が良くなったような雰囲気ですが、レストランで、まだお皿しか出ていないといった処のようです。」

10月には全日本履物団体協議会主催、履物の国際会議が20年ぶりに東京で開催されます。各国靴業界の考えを、是非体感してください。」と挨拶。
大澤顧問からは「材料も製品も輸入割合が高い我が業界は円安に振れ、厳しい状況が続



きます。ついでにはメイドインジャパンの良さ、技術の高さを世界に向けアピールして行かなければなりません。それには見識の高い営業マンの育成が急がれます。傘下の団体が力を合わせ発展するよう協力してまいります。」と挨拶の後、大野会長が議長に就き、議事録署名人に武川雄二氏、武田和芳氏を指名し、議事に入りました。

第一号議案

平成24年度事業報告及び
収支決算報告について

事務局の佐宗、田中両氏よ

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

資料の説明。続いて石鳥監事より山田、栗原監事と共に監査した結果報告。全員異議なく承認した。

第二号議案

役員改選について

議長より、今年度は役員改選期であり、会長には日本靴小売商連盟の小堤幸雄会長に、理事・監事については、各団体の推薦によるもので役員名簿を参照してください。」と述べた。

佐宗事務局長の詳細説明の後、議長が議場に諮り全員異議なく承認された。

大野会長は謝辞を述べ退席。続いて小堤新会長が議長に就いた。

小堤新会長は「輪番制というのですが、皆様のご指導ご協力を得て大役を果たせるよう頑張ります。靴の記念日の式典を広く消費者まで知って頂き、靴の歴史や意義を啓蒙したい。」他、挨拶をした。

第三号議案

平成25年度事業計画及び
収支予算について

事務局の佐宗、田中両氏より平成25年度の事業計画及び

収支予算について説明。小堤新議長は議場に諮り、全員異議なく承認された。

第四号議案

「靴の記念日」ポスター
配布について

矢代理事より、日本靴連盟として「靴の記念日」の周知を図るために当連盟傘下の企業に東靴協会が作成しているポスター等の提供を受け配布を提案。全員異議なく承認された。

議長は議事終了を宣言し退席。

矢代理事の閉会の挨拶で総会は滞りなく終了した。

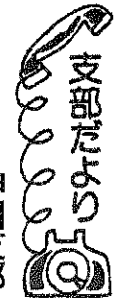
一般社団法人 日本皮革産業連合会総会開催

平成25年6月7日、皮革健保会館におきまして、一般社団法人として第1回目の理事会と総会が開催された。

日本皮革産業連合会・岩崎幸次郎会長の挨拶に続き来賓の経済産業省紙業服飾品課長・坂本敏幸氏が「現在の安倍政権の政策アベノミクスは2〜3年後には必ず日本の景気を良くする」と力強い挨拶を頂き総会に移った。

議題の平成24年度の事業報告は各委員長が行った。収支決算書並びに財産目録を担当者が説明、最後に朝稲専務理事

より各報告事項を説明、すべての議事は原案通り承認され、総会は無事に閉会した。

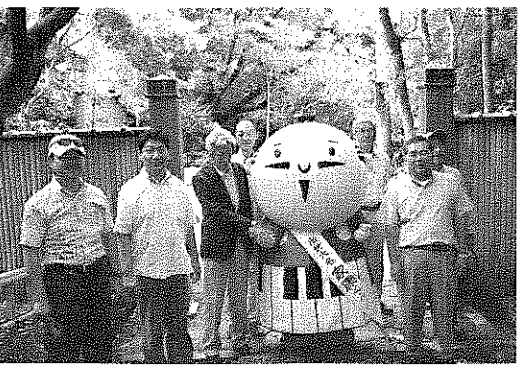


神田支部

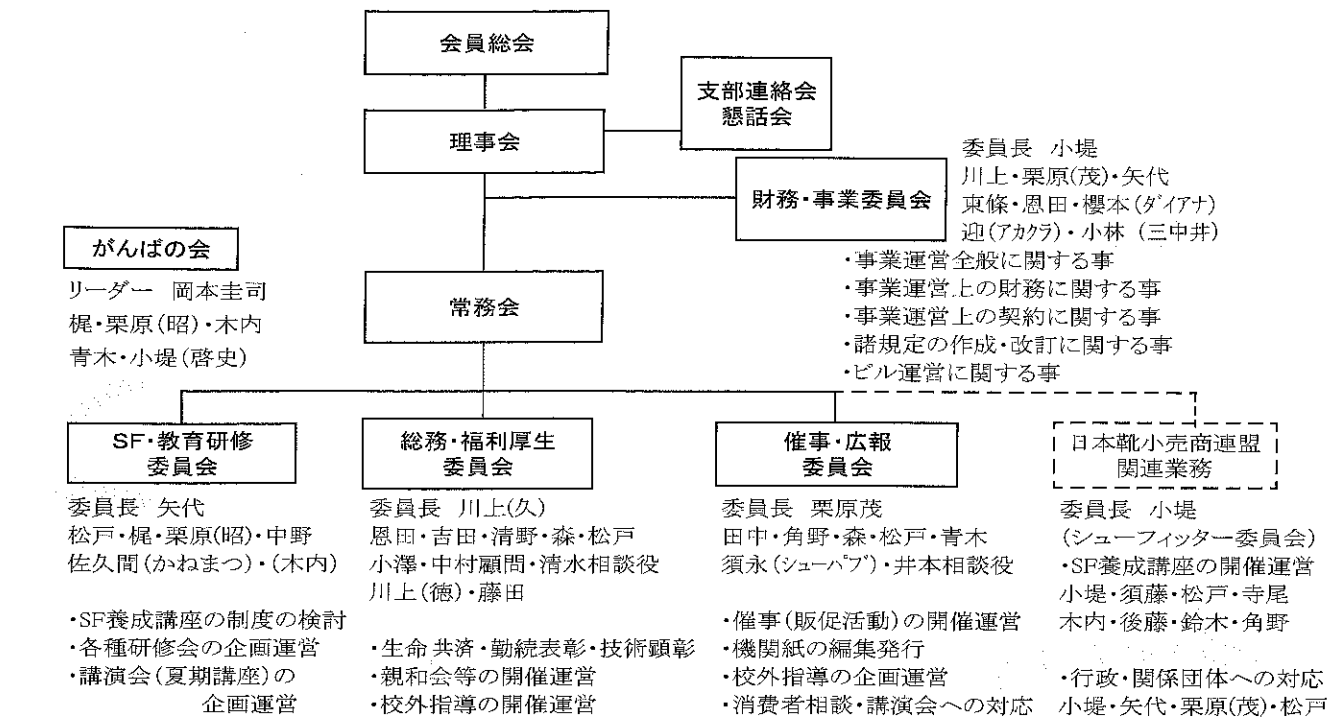
神田支部(守安幹雄支部長)では、6月30日・7月1日に二泊二日で支部総会旅行を支部員7名が参加して実施した。

急逝した旅行の世話役でもあった、前支部長の三島政治氏を偲びながらの旅となった。

浜松城、浜松基地エアトパーク、井伊家菩提寺の龍潭寺、竜ヶ岩洞(鍾乳洞)と見学をして宿泊は浜名湖グランドホテルさざ波館。総会の議事もすべて承認され、懇親会は和気あいあいの中、楽しいひと時を過ごした。



東靴協会組織図(担当者及び業務内容)



一般社団法人東靴協会
平成25・26年度新役員名簿

5月29日に行われた総会において左記の新役員が決定した。また、組織図と担当および業務内容は下記の通り。

- 役職 氏名(敬省略) 支部
- 顧問 矢代裕三 (中央)
- 相談役 中村久男 (北)
- 会長 清水岩男 (新宿)
- 副会長 井本敏勇 (中央)
- 常務理事 小堤幸雄 (豊島)
- 理事 川上久和 (杉並)
- 松戸福治 (中央)
- 田中省一(世田谷)
- 吉田 弘 (青葉)
- 梶 泰和 (浅草)
- 栗原昭宣 (神田)
- 小林久志 (新宿)
- 須永紳一 (中央)
- 森 嘉明 (中央)
- 小澤武彦 (浅草)
- 青木隆史 (新宿)
- 佐宗秀行(事務局)
- 専務理事 須藤教夫 (新宿)
- 常任監事 岡本圭司 (中央)
- 監事 井上 廣 (神田)

業界情報

早期に価格体系を再構築
為替の急激な変動は、製造・輸入企業の経営の大きな打撃を与えている。大幅な円安で企業努力にも限界がある。値上げによる価格体系を構築せざるを得ない。

また、アベノミクス効果なのだろうか、デフレ脱却のムードも出始めている。日常生活に密着した食料品や、ファストフードなどは値上げ、新価格への動きが広がっている。輸入食材が多い業界では、材料のコストアップによる値上げが進んでいる。ファストフード業界では、「安くてもいいもの」から「高くてもいいもの」への提案が相次いでいる。生活者の要望の中からも、「もう少し高くても、良いシューズが欲しい」という声も増えてきた。

来年に迫った煩わしい消費税アップまでに、新価格体系づくりを完了しておきたいところだ。

丸五・日進ゴム・福山ゴムが値上げ

ワークシューズ専門メーカーの丸五と日進ゴムは、急速な円安により調達コストが高騰しているため、8月から9月にかけて、出荷価格を平均で15%~20%値上げする。

春夏場所「ヒット番付」

織研新聞に恒例の「ファッション春夏場所ヒット番付」が掲載された。靴関係では東の関脇にインヒールスニーカー「靴以外のメーカーも参入、エレガンス系ブランドがスニーカーを作きつけとなる」

西の小結にニューバランス「米国製の高単価シューズが伸びた。女性の購買が上がった」となっていた。

☆福山ゴムはワーク関連の全ての履物を、9月1日から10%~20%の値上げをする。

これで、6月の弘進ゴム、7月のオカモトに続き主要ワークシューズメーカーの値上げが出揃ったことになる。

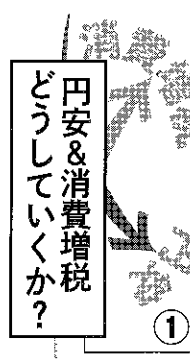
(シューズポスト誌より)

☆丸五は「地下足袋、長靴、安全スニーカー、作業履き」など定番品は9月1日出荷分から、すでに今春受注している新商品は年内は据え置き、来年1月からの改定。

☆日進ゴムは「急激な円安は企業努力の域を超えており、改定せざるを得ない状態だ。」

このため、シューズ全般について、8月1日出荷分から15%前後の値上げのお願いをする。

アジアリングセミナー



今年春夏商品は、円安にも関わらずそれ程商品価格に反映されなかったが、秋冬商品からは、かなりの値上げが予想される。これはアメリカドルが80円から100円に、ユーロが100円から130円となり、製品輸入にとつては25%~30%のコスト増となるからである。

従つて特に低価格商品にその影響が出る予想される。

ケミカルの1990円商品は2500円上代になるのか、2900円になるのか、消費者に受け入れられるのか？ 予断はできない。また3900円以上の商品については少なくとも1000円の値上げが予想される。

スニーカーでもナイキなどは今迄の3900円ラインがなくなるというわれている。

紳士靴でも既に大塚製靴は一部商品を値上げしたが、材料の価格上昇が進んでおり、他メーカーにも波及しそうである。

さて、6月に開催されたアジアリングの消費税アップ対策セ

ミナーを参考に難問への対策を考えてみたい。

「第1講座」

消費税増税を逆手に取る

業績拡大戦略

I 大増税で解消できない

財政赤字

最初に前回の消費税増税で何が起きたかである。結論から言えば税収は減り、増税後15年間一度も1996年の税収を超えていない。今回は減税もなく、増税十負担増が目白押しである。従つて消費税増税での税収増加はうそで、税収減収と格差社会の拡大による景況悪化が危惧される。

II 大増税に備える経営戦略

前回増税時に影響の少なかったのは、①ギヤルとギヤル男の単身者で、この客層向けのエンターテイメント商材は好調であった

②現役世帯並の所得と現・預金資産を有する高齢者。この層向けのラグジュアリー商材は安定していた。増税後、当初影響を受けたものの安定した需要を続けたのはファッション雑貨で、レディースの婦人靴、ハンドバッグの影響は軽微であった。

では値上げ、消費税増税前の対策だが、最初はシニアの高額消費を狙い、増税直前にはミセス商材の駆け込み需要、増税直前には低所得者向けの必需品のバーゲンが有効である。

次に増税後の反動減を防ぐには、まず精神的富裕層を狙い撃ちし、格差社会で拡がる贅沢消費への転換を図る。ギヤルとユリッチ層に買わせる仕掛け、仕組みを展開し、増税の影響を受けにくいギヤルヘファッションブランド品を投入する。またポリュエム層へはプチ富裕層向けにラグジュアリーMDを組み、必需品のミセス&キッズにはバーションアップ必需品を提案する。

III 消費税増税を逆手に取る

業績拡大戦略

製造業と建設業はグローバル化の打撃を受け男の職場は減少し、女性雇用は拡大するものの男性不況は拡大する。男女の給与格差は縮まり続けているが、それは「正しい」かより、好き嫌いの「好み」の判断が重要視される「感性市場」が拡大しているからである。業界に求められているのは「観る」力であり、好況時に求められる「分析力」から、不況時に求められる「好

奇心」へと移っている。具体的に「デザインやセンス、アートなど美的な価値観、好みを増幅させる魅力観を高める時代が到来しているのである。」

ではユリッチジュアリー市場の対象だが超富裕層でなく、プチ贅沢を楽しむ顧客層がターゲットで、所得や資産はそれほど多くないが、精神的富裕層向けのこだわり消費市場である。そのユリッチ族の具体像だが、

- ①ストック(平均貯蓄額2254万円)だけでなくフロー(年300万円)までリッチなシルバー族で、年金以外にも生涯使えるお金は年間13万円も。
- ②ローンや教育費の負担がなくなったシニア族。
- ③成果主義を享受するサラリーマン格差族。
- ④断捨利&ロハス族の出現で可処分所得が増加した女性キャリア族。
- ⑤晩婚・非婚のパラサイトシングル族などである。

その対象客層に、高く売るユリッチ戦略6原則にふれる。

- ①格上げMD(頑張った自分に対するご褒美、手の届くレベルのプチ贅沢な商品。サービス)
- ②会員サービス(格上げ生活を楽しませるコミュニティの形成、テ

ーマを設定したSNSの会員制度が有効)

③バーションアップMD(ユリッチをつなぎ止める戦略が必須で、ラグジュアリーな経験値を段階的に上げ、慣れさせる施策が不可欠である)

④公平サービス(サービスは最初平等から、買上げ高にに応じてラックアップ)

⑤リセットMD(何時までも「同じ自分」から、ちよつと「違う自分」への提案MD)

⑥あなただけのサービス(お客様の「ニーズ」は皆と同じから、私だけの「ウオッシュ」へ以上がポイントである。

そのためには売り手の意識改革が必須である。豊かな人生を望むなら、豊かなお客様に近づき、くべきであり、格差社会で勝ち抜くには、MDは今を楽しく生きるエンジョイ消費と、ちよつと背伸びするプチ贅沢消費へシフトする。勝ち組を望むなら、勝ち組のお客様に近づけばよいのである。

*「第2講座」の消費税アップ対策、レディースシューズ編、「第3講座」消費税アップ対策・メンズシューズ&スニーカー編は次号に続く。

理事会だより

平成二十五年六月二十五日 午後2時、西村記念ホール

参加者33名、川上副会長から挨拶があり、本日の理事会の出席定数を満たしていることが報告された。

小堤会長が、一般社団法人東靴協会として新定款に基づく理事会運営について、その相違点を大まかに説明。続いて新役員となり、本日はじめて出席した(株)アカクラ迎孝二常務理事とセイカ堂 井上廣監事を紹介した。

新定款により理事会議事録の記名押印者は会長自身と出席監事で行うことになったと説明。

一同、了解し議事に入った。

一、新定款に基づく理事会

開催回数ほかについて
小堤会長より、新定款に基づき理事会回数の変更について説明があった。従来通り毎月の会合は開きその中の年6回程度を理事会とすることを提案し、承認された。

また、理事会議事録については出席した代表理事及び監事が記名押印することになった旨一同に確認した。

二、夏期学校講座8/7(水)の

工場見学について
会長より、申込状況の確認し、あと数名で申し込みが締め

切られることが報告された。

三、夏期学校校外指導

8月21日(金)について
川上副会長より、訪問先について詳細なスケジュールが紹介され、本日の配布資料に案内と申込み用紙が渡されているので、早めに手続きするよう連絡した。

四、「靴まつり」の実施内容の

概略について

田中理事より、現在進行中の「靴の記念日」催事の中間報告があり、「靴まつり」については来月の催事広報委員会での内容を決定し8月にツール配布となる旨連絡があった。

五、その他

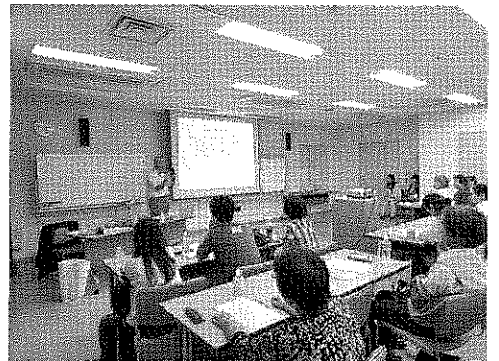
佐宗専務理事より、7月及び夏期の催事を含めたスケジュールについての報告があった。また、総会で承認された新役員と、復帰された役員及び新たな役職に就いた役員を改めて紹介した。(2ページ参照)

葛飾区消費生活センター

消費者講座開催

平成25年7月5日金曜日、午後1時30分より葛飾区地域振興部産業経済課・消費生活センター主催の消費者講座が「葛飾区立ウイメンズパル」で開催された。

講師には日本靴小売商連盟シューフィッター講師一般社団法人東靴協会会長の小堤幸雄氏が担当し、ポステイコーポレイ



ション・シューズポストの記者も同席し、一般社団法人東靴協会の公益目的事業としての本講座を取材した。

佐宗専務理事もアシスタントとして加わった。

講座は「健康のための靴選び、体に合った靴選びをしよう」と題し行なった。

受講者は応募多数のため抽選で35名が選ばれ参加した。講義内容は

- 1、何故靴が番大切?
 - 2、いつ購入すると良い?
 - 3、靴の履き換え
 - 4、高齢者の足のトラブル
 - 5、若さを保つ (老化は足から)
 - 6、靴の履き方
 - 7、靴合わせ
 - 8、足について
 - 9、シューフィッターとは
- の項目で講義を行なった。

東京都中小企業景況調査(5月)

業況：上昇傾向の中で、やや戻す
見通し：全業種・全規模で後退、警戒感強まる

卸売業			業況					
対象数	回答数	回答率	5月		今後3か月間見通し(当月比)			
			悪い	良い	悪い	良い		
875	382	43.7%	-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 男子服							
	2. 婦人・子供服							
	3. 靴・履物							
	4. かばん・袋物							
	5. 装身具・身の回り品							
小売業			業況					
対象数	回答数	回答率	5月		今後3か月間見通し(当月比)			
			悪い	良い	悪い	良い		
875	275	31.4%	-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具							
	2. 男子服							
	3. 婦人服							
	4. 子供服							
	5. 靴・履物							
	6. かばん・袋物							
	7. 雑貨・身の回り品							
	8. 時計・眼鏡							
	9. ジュエリー製品							

景況についてのアンケート結果 (対象月…25年6月)

- ▶ 全体的な業況
 - 良い 15.4%
 - 悪い 38.5%
 - 変わらず 46.1%
- ▶ 売上げ
 - 前月比 増えた 15.4%
 - 減った 69.2%
 - 同じ 15.4%
 - 前年同月比 増えた 7.7%
 - 減った 38.5%
 - 同じ 53.8%
- ▶ 販売価格は前月比
 - 騰貴した 0.0%
 - 下落した 7.7%
 - 同じ 92.3%
- ▶ 販売経費は前月比
 - 増えた 7.7%
 - 減った 0.0%
 - 同じ 92.3%

参加者募集

◇夏期学校・校外指導◇

日時：8月21日(水)
神田集合 7時30分出発
神田一アサヒビール工場見学—筑波山(筑波山温泉・青木屋、昼食・入浴可)—筑波山神社—筑波ハム—神田着
人数：45名
参加費：¥3,000・子供同額

◇シューフィッター既得者勉強会◇

日時：8月23日(金)午前10時～12時
「お客様に安心、信頼される靴あわせ」講師
都立城東職業能力開発センター講師
日本靴小売商連盟 S F 講師・鈴木信行氏
(勉強会は S F 資格更新時の講習会の対象)

参加希望者は協会事務局まで
TEL 03-3252-5656